

にし阿波地域のおもてなし ～傾斜地の田舎暮らし体験～



A thousand years, a hidden hamlet



にし阿波地域ってどんなところ？

にし阿波とは

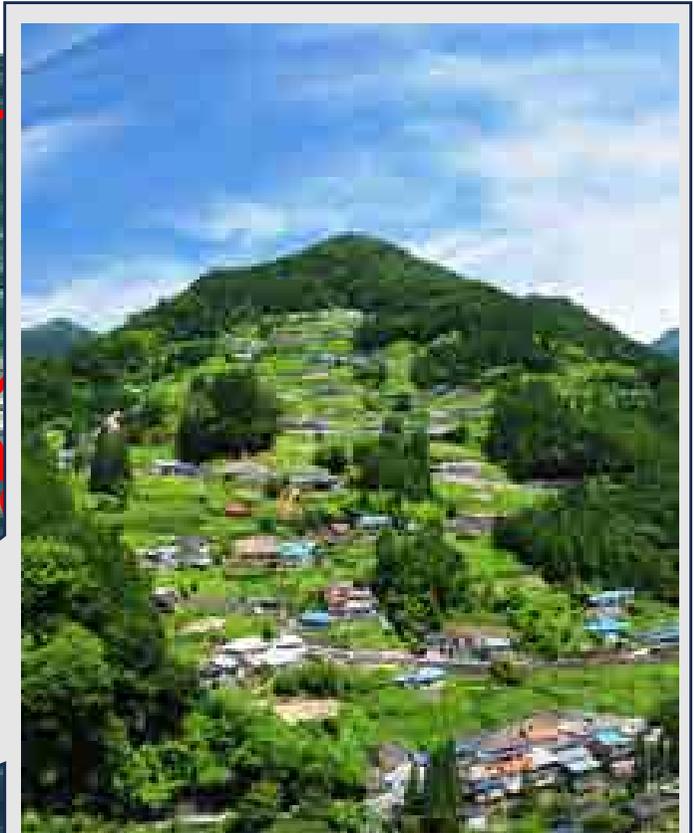
徳島県西部の2市2町（美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町）を指す。

人口：6.7万人
（世田谷区：94万人）
面積：1,406km²
（世田谷区：58km²）

- 2008：観光圏認定（国土交通省）
- 2017：SAVOR JAPAN認定（農林水産省）
- 2018：世界農業遺産認定（FAO）**
- 2024：日本ジオパーク認定（日本ジオパーク委員会）



衛生写真で見ると・・・



落合集落：重要伝統的建造物群保存地区

山間集落が点在
その数、約200集落

世界農業遺産 Globally Important Agricultural Heritage Systems



にし阿波の傾斜地農耕システム

- 標高100～900mの山間地域に約200の集落が点在
- 急峻な山の中腹で、棚田などの水平面をつくらず傾斜地をそのまま活用
- 独自の技や知恵を培って、自然を守り、命を守り、集落を守ってきた
- 自然との共存で生まれた食文化、農文化、景観等
- 400年以上続く、持続可能な農業システム

自然と調和した適応技術：カヤの活用



【コエグロ】
カヤを束にし、円すい状にして保管



土にすき込んで肥料に
土の上に敷いてマルチに

カヤの効果

※カヤとは、ススキやチガヤ等の植物の総称

- ・ 土壌流亡の抑制
- ・ 保温と保水
- ・ 雑草の抑制
- ・ 有機物の供給

自然と調和した適応技術：独自の農具文化



「野鍛冶」による農具の製作



流亡した土壌を回復する
「ツチアゲ」作業

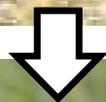
- 鋭く角度のついた農具
→ 傾斜地耕作に適応

採草地を中心とした生物との共存

採草地（カヤ場）



ex. シコクフクジュソウ



ex. ハイタカ（狩場）

採草地への人為的介入
→ 稀少動植物を保全

植物：342種、昆虫：241種、鳥類：28種

コミュニティの中心にある農村文化



滋味あふれる独自の食文化

そば米雑炊

ソバの実を挽かずに使う独特の食べ方。徳島県の代表的な郷土料理。

雑穀餅

環境に適応した独特の食文化

干し物(ゼンマイ・大根・柿など)

自然の貯蔵庫：イモ穴

人々の営みが生み出した景観



「桃源郷」と称される集落



秋冬の風物詩：コエグロ



傾斜地一面のソバ畑